

## - ストローフェイスでコミュニケーションが変わる - *Change a communication*

- ドキュメント管理と情報共有のための三種類のSNS -

### ■ グループ 多対多のグループセッション

ひとつのプロジェクトを完結する場合、多くの関係者と情報を共有する必要があります。ストローフェイス内で「グループ」を作り、そこに関係者を招待することで、複数のユーザーで情報を共有することが可能となります。

### ■ S\_LINE 一対一の対話セッション

ユーザーのアドレス帳に相手方のアドレスを入力し追加登録するだけで、相手方に招待メールが送信されます。

相手方は受信したメール内にある「アドレスをクリック」するだけで、S\_LINEは開通します。特にユーザー登録やパスワード設定と言った、面倒な処理は必要ありません。

### ■ C\_LINE 一対一SNS同時大量構築システム

C\_LINEとは「コーポレートライン」のことです。

企業内でメールによる情報交換をすることも多いと思います。

しかし、メールでの情報共有はリスクが高く、また管理と言った点では問題が多すぎます。

C\_LINEとは、このような問題を解決するために考えられた仕組みです。

S\_LINEでも同じ機能を有しますが、例えば10人がそれぞれS\_LINEを結ぼうと思うと、45回分の処理が必要となります。

この手間を省くため、C\_LINEでは管理者が10人のアドレスをC\_LINE登録するだけで、一対一のSNSを、一度に構成することが可能となります。

また、管理が一元化されるため、人の移動時にも有効となります。

コーポレートIDが同時に付加され、ドキュメントのクラウド登録が無制限で可能となります。